

ここにこえがおで

小 二

「なに、そのでかいくつ。」

学校から帰ろうとして、くつをはくときに友だちに言われました。わたしは、そのくつをはきたくてはいているわけではなかったの、少しいやな気もちがしました。

わたしは、みんなより大きなくつをはいています。それは、生まれつききん力が弱く、ころびやすいからだ、お母さんに

聞きました。たしかに、とう下校中によくころんで、友だちがびつくりすることがあります。ほかに、しせいを正しくするために、いすにすべりどめシートをつけたり、びょういんでリハビリをしたりしています。

わたしがリハビリに行っているびょういんには、大きな声を出す人や、体がふじゆうな人、せがひくい人などがいます。わたしは、その人たちを見たとき、「わたしと同じで、生まれつきなのかな。でも、わたしとちがうところもあるな。」と思いまし

た。わたしは、見た目では、きん力が弱いことは分かりません。でも、その人たちは、見た目ではほかの人と少しちがうところがあることが分かります。

見た目では、人とちがうところが分からないわたしでも、友だちの言うことやすること、いやな思いをすることがあります。せがひくい人や、手足がふじゆうな人は、見たらすぐ分かります。だから、もしかしたら、わたしよりもきずつくことが多いのかもしれない。わたしも、そういう人を見て、

「体がふじゆうだから、ことばが違ったわからないかもしれない。」と思い、話すのが少しこわかったことがあります。でも、それはいけないことです。人とちがうところがあるからといって、その人をこわがったり、その人がいやがるようなことを言ったりしたら、その人がきずつくからです。そのときのかなしきもちが、わたしにはよく分かります。

わたしの名前は、夕陽ゆうひです。空にかがやく夕陽ゆうひのように、だれにでもあたたかくふりそそ

いでほしいとねがってつけられ
れました。これからわたしは、
自分の名前の通り、だれにでも
話しかけて、なかよくしてい
きたいです。

わたしは、わたしの大きなく
つのことや、少しころびやすい
ことも、自分のことばで話して、
友だちに分かってもらえたら
うれしいです。そうすれば、も
つとなかよくなれる気がしま
す。そして、「これから、一
人一人のちがいを大切に、
みんながにこにこえがおです
ごせたらいいなあ。」と思います。